

# 常総市公共交通活性化協議会 (第13回会議要旨)

■開催:平成22年8月11日(水) 午後2:00~2:45 石下福祉センター大会議室

■出席: 委員 鈴木委員長, 飯塚委員, 吉田委員, 尾上委員, 落合委員, 沼尻委員, 中山委員(茨城運輸支局), 成松委員(茨城運輸支局), 中本委員(県交通対策室), 白田委員(常総警察署交通課長), 松村委員(宥三妻タクシー), 石川委員(関東鉄道株), 中川委員(常総市商工会), 滝本委員(常総市社会福祉協議会), 染谷社会福祉課長, 中久喜介護長寿課長  
事務局 企画課 浅野課長, 小林係長, 小林主事

■配付資料:

- ・常総市公共交通活性化協議会 第13回会議出席者名簿
- ・常総市公共交通活性化協議会 第13回会議議案書
- ・常総市公共交通活性化協議会財務規定 (別紙1)
- ・常総市乗合交通 利用状況報告 (別紙2)
- ・常総市公共交通活性化協議会(第12回会議録)
- ・常総市公共交通マップ

■内 容

- 議案第1号 平成21年度事業実績について
- 議案第2号 平成21年度歳入歳出決算について
- 議案第3号 常総市公共交通活性化協議会財務規定の改定について
- 議案第4号 予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について
- 議案第5号 免許取得の状況について
- その他

■協議内容 (◆:議長 ●:委員, ⇒:事務局)

開 会 午後2:00

⇒: 前回の会議内容を説明。

- 1 地域公共交通活性化・再生総合事業の評価結果について
- 2 予約型乗合交通の利用状況について
- 3 予約型乗合交通の愛称について
- 4 平成22年度事業計画(案)について
- 5 平成22年度歳入歳出予算(案)について

【議案第1号】

⇒： 「平成21年度事業実績について」説明。

●： 承認

【議案第2号】

⇒： 「平成21年度歳入歳出決算について」説明。

●： 承認

【議案第3号】

⇒： 「常総市公共交通活性化協議会財務規程の改定について」説明。

●： 承認

【議案第4号】

⇒： 「予約型乗合交通ふれあい号の利用状況について」説明。

●： 利用状況報告を見ると、午前9時と10時代の利用率が15%、或いはそれを超える利用状況となっているが、お断りの状況はどのくらいあるのか。

⇒： お断りについてはどの時間帯でもあるようだが、データは取っていない。

ただ、特に月曜日の午前中に、予約センターの電話がかかりにくいといった苦情が当課の方に入ってくることもある。

そのため、7月号市報で改めて、予約については3日前から可能なので利用することが分かり次第早めの予約をお願いしたい等の周知をさせてもらった。

●： 運行を開始してから10ヶ月余りが経ち、ある程度行動パターンも見えてきたので、例えば、利用者の少ない8時代の車輛を、9時・10時代便に回すなどの工夫をしてもいいのかと思う。

また、他市でデマンドの運行を行っているところで、病院やスーパーが休みで利用者が少ない曜日の車輛を、他の曜日に振替えるといったことを行っているところもある。

同じコストで空車の時間帯と満車の時間帯があってはもったいないので、その辺についても試みてはいかがかと思う。

⇒： 今後、利用状況のデータを参考にしながら検討したい。

◆： お断りする人は高齢者が多いのか。

⇒： 利用者の殆どが高齢者といったこともあり、やはり高齢者が多いのではないかと思われるが、その辺のデータも取っていない。

ちなみに、企画課の方に苦情として連絡が入るのも高齢者が圧倒的に多い。

◆： 8時の便は朝早いといったこともあるようなので、8時半とか時間を少々遅らせるとかの検討も併せて行っていただきたい。

●： 承 認

【議案第5号】

⇒： 「免許取得の状況について」説明。

●： 現在暫定免許で7社が参画している中で、仮に試験に合格できない会社があった場合、ローテーションの変更だけでなく、台数を増やすことも検討に入れているのか。

⇒： 今のところ通常運行の台数を増やすことは考えていないが、車検や何らかの事故等により台数が不足した場合の予備的な補填車輛措置については考えている。

●： 予備車輛については、事業者の免許申請時に既に登録していただいているので、それであれば一任してもいいと思う。

●： 承 認

【その他】

⇒： 「常総市公共交通マップについて」説明。

鉄道・バス運行経路図をご覧いただければお分かりのとおり、常総市内の公共交通網は非常に貧弱で、市域の殆どが空白地帯となっている。これは常総市民が如何に自家用車に依存しているかの表れである。

また、路線図中の関鉄バスの岩井バスターミナルから水海道駅まで、土浦駅西口から水海道駅、さしまバスターミナルから水海道駅の3路線についてはいずれも赤字路線となっているほか、常総線も水海道駅から北の単線路線については赤字路線となっている状況である。

これまでもこの会議の中でご説明させていただいてきたが、これら民間事業者が運行する公共交通は、利用者が少なくなってしまうと、当然のことながら、路線の廃止は余儀なくされる所であり、これまでも利用者の減少により幾つかのバス路線が廃止となってきた。

今後、これ以上常総市内の公共交通が減少・廃止とならないよう、まずは委員の皆様のご家族やご近所の方々に、公共交通の抱える問題等についてお話いただくとともに、公共交通を積極的に利用していただくように促がしていただきたいと思う。

◆： この公共交通マップの配布状況はどのようなか。

⇒： 自治会に加入している全戸に配布している。

◆： その後、予約型乗合交通の周知はどのように行っているのか。

⇒： この公共交通マップにて周知したほか、先ほど説明した、7月の広報紙にて「予約型乗合交通の利用についてのお願い」の記事を掲載している。

●： 常総市の学生はどのような交通手段を利用しているのか。

⇒： 学生の通学のうち、公共交通の利用は、岩井バスターミナルから水海道駅までの関鉄バスと常総線の利用が多い状況で、学校によっては、地域限定のスクールバスを運行しておりそれを利用している学生もいる。

その他は、家族の自家用車等による送迎や自転車による通学が殆どである。

- ： 城里町では、以前は町の中心地までのバス料金が1,000円だったこともあって、その殆どが家族の者が送迎していた状況であったが、数年前に町の政策として、路線バスを運行している茨城交通と協議し、バス料金をこれまでの半分の500円にしたら、今ではバスに乗り切れないほどの利用者がいるといった状況になっている。

これについては、地域の実情といった部分で特殊な事例かもしれないが、公共交通を活性化させるための政策として、このようなチャレンジの方法もあるといったことで、事例紹介させていただいた。

- ◆： 今年度の施策として、何かモニタリング等の計画は無いのか。

⇒： 今年度については、先の会議でもお話ししたとおり、利用者アンケートを実施したいと考えているほか、本日傍聴に来られている鈴木先生の研究室の学生さんに、当市の予約型乗合交通の運行や利用状況等々のデータを提供し、デマンド交通の効率性向上と地域適正の分析をお願いしているところである。

閉 会 午後2：45

以 上